

セルフモニタリング報告書(令和5年度分)

令和6年4月30日

施設名 苦小牧市保健センター
 指定管理者名 一般財団法人ハスカッププラザ
 所管課名 健康こども部 健康支援課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画書に伴い管理運営を行っている。	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	コロナウイルスの5類移行に伴い、健康講話の再開、運動教室を積極的に開催し利用者の増加に努めている。	Ⓐ・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。		A・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	健診関係機関と連携・協力をしながら運営を実施している。また、近隣施設で開催されるイベント等の臨時駐車場貸出依頼等については、出来る限り協力し、地域の繋がりを強めるよう努力している。	Ⓐ・B・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	利用者の満足度が得られるよう、工夫しながら運営している。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	利用者アンケート・その他の苦情内容に基づき、関係部署と協議しながら、利用者の意見や要望を把握し出来る限り対応している。	Ⓐ・B・C・D・E

<p>利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。</p>	<p>施設改装等は難しい場合もあるが、健康診断に関する意見や改善希望については積極的に取り組むよう努めている。</p>	<p>Ⓐ・B・C・D・E</p>
<p>3 管理運営の効率性</p>		
<p>経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。</p>	<p>最大電力消費量を削減する機器（デマンド）を設置し電力消費料をコントロールし消費電力を抑えることに努めている。</p>	<p>Ⓐ・B・C・D・E</p>
<p>一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。</p>	<p>委託業務先の選定に関しては、委託先選定基準を定め、双方にメリットがあるよう内容や金額等の検討・協議を行い円滑に運用が可能になるよう努めている</p>	<p>A・Ⓑ・C・D・E</p>
<p>収入増加のための取組はされているか。</p>	<p>当施設も昨今の物価上昇及び原材料が高騰の影響に伴い、健診料金の見直しをおこない収入増加に努めた。また、各企業及び事業者に対しても引き続き、営業活動を行い健診人数の増加に努めている。</p>	<p>Ⓐ・B・C・D・E</p>
<p>4 適正な管理運営</p>		
<p>職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。</p>	<p>コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、学会・研修会等の参加を行っている。また、職場内での研修会を積極的に実施して個々のスキルアップに向けた取り組みを行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C・D・E</p>

安全対策（事故防止等）は十分だったか。	職員へのインシデントに対する考え方について、改めて研修を行いつつ、重大事故に繋がらないよう対策を行っている。	Ⓐ・B・C・D・E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	無駄のない人員配置を考え、外部委託、アウトソーシング等を積極的に利用し対応している。	⓪・不適
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	当施設は、障がい者、老若男女や妊婦、外国人など、誰もが平等に使いやすい施設をコンセプトとしてユニバーサルデザインや苫小牧市福祉のまちづくり条例に基づく整備、利用者が使用するフロアには多目的トイレを設置しオストメイト等の公衆衛生機器を備えている。	⓪・不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	職員IDのログ管理等を実施し、電子錠の付いた保管室及び保管庫を設け漏洩に注意し管理している	⓪・不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	公認会計士への監査依頼及び税理士と業務契約を行い、適正処理を行っている。	⓪・不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	各種点検業者により都度点検済み	⓪・不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	備品保管庫及び書庫等にて保管し対応している	⓪・不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	協定書等を作成し管理している	⓪・不適
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地元業者等を利用して地域貢献に努めている	Ⓐ・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

[4 適正な管理運営]において不適がある場合、その理由と今後の対応について

--

指定管理者の自己評価(全体を通して)

- ・令和 5 年度については、新型コロナウイルスが 5 類に移行されたが、健診機関ということを考慮し感染予防対策を鑑みながら運営した。
- ・健康診断事業については、施設内・施設外健診も順調に推移し、総合健診（人間ドック）及び一般健診（事業所健診）については、前年度を上回る結果となった。
- ・特定健康診査についても、前年度を上回る 3,077 人が受診となった。
- ・健康づくり事業については、外部インストラクターと提携しながら運動教室を開催し利用者より好評を得られた。
- ・昨年同様に特定保健指導の指導拒否や及び途中での離脱が多く見られたことから今後の対策が求められる。
- ・健康講話等については、コロナ禍によりオンライン環境が整備されたことも利用者が増加した要因にもなっている。また、施設内実施数も増加してきており今後の利用者増にも期待が持てる結果となっている。
- ・施設内に新たな電力容量確認計器（デマンド）を設置し、自動的に動力の入力を控え、基準電力を超過しないよう一括管理している。
- ・施設内の事務所及び検診者が利用しない場所については午前午後に関わらず消灯を実施して節電等、経費削減に積極的に取り組んでいる。
- ・新たなオプション検査を採用することにより、検診項目を充実させ更なる利用者増加を目的とし運営を行っている。
- ・税理士事務所・公認会計士と顧問契約を行いながら、運営面での安定的な資金運用に努めている。